

旧越中屋ホテル 復活

小樽「アンwind」きょう開業



昭和初期の建設当初からあるステンドグラスを活用したレストラン

【小樽】国の近代化産業遺産で、昭和初期に小樽市中心部に建設された旧越中屋ホテルを活用した「アン

wind ホテル&バー小樽」(小樽市色内1)が13

日、開業する。建設時から残るステンドグラスや大理石の階段手すりを生かして改装した。

4階建て延べ約1800

平方メートルで、ダブル中心の全

36室。レストランやバーも備える。札幌のログハウス風ホテルなどを手がけるグローバルエージェンツ(東京、山崎剛社長)が運営し、改装費は5億円以上。山崎社長は「風格ある建物での非日常的な宿泊をPRする」と話す。客単価は平均2万円前後を見込む。

旧越中屋ホテルは1931年(昭和6年)、外国人専用ホテルとして開業。社員寮などを経て93年にホテルとして再開したが2009年に閉館した。16年に香港拠点の不動産投資業Siインターナショナルホールディングスの関連会社が買収した。(谷本雄也)